



結 う

横手市共助組織連合会情報交換会が開かれました

特集号

6月15日(木)に山内地区交流センターホールを会場に、市内10共助組織の代表が一堂に会して、それぞれの活動の様子や抱えている課題などについて情報交換を行いました。

ふくち共助組合(雄物川地域)

- ・約480世帯、1400人弱の地区。平成28年に発足した共助組合。役員8名、会員38名で構成。
- ・個人宅や公共施設の雪下ろし、個人宅や福祉施設の雪よせ、国道や県道の路肩、個人宅、公共施設敷地の草刈りなどが主な活動。畑の耕起やマルチ敷、冬囲いや囲いほごしにも対応。
- ・ホイールローダーと小型除雪機各1台所有。
- ・利用料金 雪下ろし 1日15,000円(7時間)
- ・いろいろな助成金を活用し、運営の一助に。

八王寺三区「結いの会」(横手地域)

- ・八王寺1区~6区 176世帯が範囲。平成27年に発足。当初6名だったお助け隊員が現在10名に。
- ・雪下ろし、雪よせ、空き地の草刈りなどが主な活動。要請があればゴミステーションの除排雪も。
- ・軽トラ1台、小型除雪機4台稼働。
- ・利用料金 雪下ろし 1時間2,000円、雪よせ 1,080円、草刈り 1時間1,500円
- ・自主財源の確保と買い物弱者対策(送迎バス運行も視野に)が今後の大きな課題。

南郷共助組合(山内地域)

- ・平成24年に発足。まもなく11年目に。95世帯。
- ・地区内の個人宅の他に依頼があれば公共施設の雪下ろし、県道や公共施設の草刈りが主な活動。
- ・地区内に1軒だけの個人商店限定のマイド券(地域通貨)を発行。実働部隊は約20名。
- ・利用料金は雪下ろしが1時間1,600円(100円分はマイド券で)。雪よせは1時間5,500円(オペレーターには3,000円支払い)。
- ・大型の除雪機1台(44馬力)所有。

狙半内共助運営体(増田地域)

- ・平成24年に発足。もうすぐ11年目に。およそ125世帯、380人の地区。半数以上が高齢者。
- ・雪下ろし、雪よせ、県道の草刈りが主な活動。近年は近隣地区からの要請で家の解体や木の伐採も。
- ・利用料金は雪下ろしが1日13,000円(1000円は運営資金に)。時間ではなく半日単位の設定。
- ・ミニバンを使用して通院買物支援も継続。月曜~木曜で1日4往復。コミュニケーションの場にも。
- ・後継者問題はあるが、若い世代のドライバーもいる。

いかだ共助組合(山内地域)

- ・筏地区は6集落、約91世帯。平成27年発足。実働のお助け隊員18名。
- ・個人宅の雪下ろしのみで、利用料金は1時間1,600円。そのうち100円は運営資金に。
- ・資金不足解消のため県道の草刈りもしている。
- ・補助金を活用して作業服と安全ロープを購入。
- ・組合員の高齢化が進み、世代交代がうまくいかないことが課題。他の共助組合と連携した取組なども検討していきたい。

三又共助組合(山内地域)

- ・平成24年発足。概ね78世帯、160人。80歳以上一人暮らしが10人。70歳二人暮らしも多い。
- ・作業員は30名ほど。雪下ろしの利用料金は1時間1,600円。半日6,000円。小型除雪機で雪よせしているが、軒周りは人力で対応することも。
- ・運営資金補填のため県道の草刈りもしている。
- ・買物通院支援も考えているが、ミニバンを使うのも大変かなと様子見状態。今はデマンド交通の利用を勧めている。

上平野沢共助組合(山内地域)

- ・令和4年9月に発足したばかり。
- ・17世帯、42人、60歳以上が47%という地区。
- ・30代～60代の消防団員7名で組織を立ち上げ。今年、女性2名が加入。
- ・地域の先輩共助組合を参考に料金設定し、雪下ろしは1時間1,600円に。除雪機を使用したら1時間5,500円に。(昨年度は雪よせの要請なし)
- ・南郷共助組合さんと合同で雪下ろし作業も。
- ・自主財源の確保が課題。

根小屋町内雪下ろし協力会(横手地域)

- ・令和4年に発足したばかり。48世帯、約130名。
- ・町内会長63歳、副会長60歳、55歳以下で会員募集。14名の会員の平均年齢45.2歳。
- ・利用料金は雪下ろし1時間1,700円。うち200円は保険代にともくろんだが、雪不足のため、町内会総会で30,000円の補助を承認してもらった。
- ・雪下ろしのほかにできることを模索中。また、意図があって自分の町内限定とした共助活動だが、状況を見つつ再考もありうる。

金澤陣館会(横手地域)

- ・平成27年に発足。地区は17集落、650世帯だが、共助対象は4集落14世帯、32名。
- ・雪下ろしの他にローダーや小型除雪機での雪よせも。市との連絡調整で効率よく除排雪できる。
- ・1級河川の両岸の草刈りも。(春と秋)
- ・利用料金は雪下ろしが1時間1,800円。雪よせは高齢者宅のみ1シーズン10,000円。
- ・昨年度新たに共助組織ができた。今後もいい仕事をして若い世代に引き継ぎたい。

保呂羽地区自治会(大森地域)

- ・平成24年に発足。八沢木と坂部の2地区、17集落、180世帯、約500人という地域。
- ・会員38名で、お助け隊員28名、女性会員10名。
- ・雪下ろしと雪よせは年齢等も考慮し班別編成に。ほかに県道や公共施設の草刈りや買い物支援を。女性陣はGBビジネスで山菜を売って収益を。
- ・人口減少、高齢化という地域の今後をあまり考えず、今できることを考えながら、若い世代の協力を求めている。

参加団体の活動報告終了後、質疑を含めた意見交流に入りました。

狙半内地区のミニバンや無料シャトルバスの運行の経緯についての質疑応答を皮切りに、買い物や通院などの移動支援のアプローチの仕方などが協議の中心となりました。また、デマンド交通の利用を勧める取り組みも紹介されました。さらに、若い世代の力を得るために地区の消防団員に呼びかけるといふ、地域の実情にかなった手法についても話題になりました。傍聴席からは傷害保険加入の質問があり、補償額を見直した事例などが出されました。

※コーディネーター 秋田県南NPOセンター 八嶋 英樹 氏



感想を一言

- ・雪下ろしをお願いしたらどれくらい費用がかかるのか知りたいとの思いから傍聴した。どの団体の代表の方も活動の様子や課題について詳しく話してくださって、聞いていてとても参考になった。
- ・共助組織の立ち上げの際、申請すると県から10万円の助成金ができることが分かった。
- ・活動の様子分かる写真などあったらもっと活動内容など理解できたかもしれない。
- ・またここ(山内)でこのような会を開いてもらいたいし、山内のたくさんの方にも聞いてほしいと思った。(傍聴された皆さんから)

